

受講生各位

## 受 講 案 内

- 集 合 各直属教会信者詰所で受付票を受け取り、3月3日正午～午後12時30分までの間に受付票で指示された場所（下記宿舎いずれか）にて受付をしてください。  
※3月3日の昼食は用意しておりませんので、各自で済ませて集合してください。  
※受付時に学生証を確認します。提示のない場合は受講できません。
- 宿 舎 第12母屋、第38母屋、高安詰所、高知詰所、敷島詰所
- 受講御供 8,000円（詰所へ納入してください）
- 携 行 品
- ・受付票 ・おふでさき ・ハッピー（ひも付き又は帯を持参） ・おつとめの扇（2回以上参加の学生のみ）
  - ・にをいがけにふさわしい服装 ・ひのきしん用のズボン（男女共）
  - ・運動靴（期間中、長時間歩くプログラムもありますので履き慣れたものを用意する）
  - ・筆記具 ・防寒着 ・雨傘 ・洗面具
  - ・同封の修練、選択講義記入用紙（必要事項を記入し受付時に提出）
  - ・**学生証** ・**保険証（コピー可）**
- ※おふでさき、傘を忘れた場合は購入していただきます。  
※憩の家受診歴のある方は診察券を持参してください。  
※薬（頭痛薬、便秘薬、生理痛薬、酔い止め、吸入薬等）を常用している方は、必ず持参してください。  
※宿舎内は非常に乾燥しますので、必ずマスクを持参してください。
- 服 装
- ・期間中はハッピーを着用します。
  - ・履物は男女共、靴に限ります。（サンダル、下駄等は禁止）

※裏面も必ずご覧ください

- 修練 別紙【修練について】を熟読し必要事項を用紙に記入の上、3月3日受付時に提出してください。
- 選択講義 別紙【選択講義について】を熟読し必要事項を用紙に記入の上、3月3日受付時に提出してください。
- 別席 別席を運ぶ方は、席札を持参してください。尚、初席者は所属の教会を通して事前に必要な手続きを済ませ、願書を持参してください。 ※初席者は「別席の誓いの言葉」を必ず覚えてきてください。
- 解散 3月9日午前10時頃（解散場所は各宿舎）
- 留意点
- ・全日程を通して受講すること。期間中の外出は認めません。
  - ・予め帰途の乗車券を準備しておいてください。
  - ・飲食物の持ち込みは出来ません。※期間中は禁酒
  - ・面会にあたっての差し入れは受け付けません。
  - ・期間中、感染性疾患と診断された場合は自宅療養（詰所療養）を指示されています。その際迎いの事やその後の対応については、個別に相談いたします。
- ※何らかの事情で不参加、又は受付に間に合わない場合は、必ず事前に学生担当委員会まで連絡してください。

□連絡先

< 2月28日まで >	学生担当委員会事務局	TEL0743-63-1511	内線-5817
		TEL0743-63-2489	(直通電話)
< 3月1日～9日 >	学生生徒修養会総務（第38母屋）	TEL0743-63-1511	内線-4110.4111
	<u>各塾（各宿舎）連絡先</u>		
	みのり塾（第12母屋）	TEL0743-63-1511	内線-4521.4522
	つなぎ塾（第38母屋）	TEL0743-63-1511	内線-4117.4118
	よふき塾（高安詰所）	TEL0743-63-1511	内線-4119.4120
	まこと塾（高知詰所）	TEL0743-63-1511	内線-4121.4122
	いさみ塾（敷島詰所）	TEL0743-63-1511	内線-4123.4124

天理市守目堂町 213-4 おやさとやかた真南棟 3階  
〒632-8790 天理郵便局私書箱 1号

天理教学生担当委員会

# 【修練について】

3月4・5日（2・3日目）に修練を2回行ないます。（105分×2回）  
下記の科目の中から選択し、必要事項を記入の上、受付時に提出して下さい。

1 <u>基礎コース</u> (座りづとめ、よろづよ八首及び打ちもの)	7 <u>女鳴物 (三味線) :初心者</u>
2 <u>てをどり前半</u> (よろづよ八首～六下り目)	8 <u>女鳴物 (三味線)</u>
3 <u>てをどり後半</u> (七下り目～十二下り目)	9 <u>女鳴物 (胡弓) :初心者</u>
4 <u>男鳴物 (笛)</u>	10 <u>女鳴物 (胡弓)</u>
5 <u>男鳴物 (小鼓)</u>	11 <u>女鳴物調絃</u>
6 <u>女鳴物 (琴)</u>	12 <u>祭儀式</u>
	13 <u>おつとめ衣の着付け</u>

※女子は男鳴物を選択できますが、男子は女鳴物・女鳴物調絃を選択できません。

※女鳴物調絃は琴・三味線・胡弓いずれもできる方に限ります。

※琴及び女鳴物調絃を希望する方は琴の爪を持参して下さい。

※着付けは初回受講の方も選択できます。男子着付けを希望する方は足袋を持参して下さい。女子着付けを希望する方は足袋、長襦袢の下に着る肌襦袢、すそよけを持参して下さい。

但し、定員により受講していただけない場合もございます。

..... キリトリセン .....

## 修練選択記入用紙

ふりがな  
**氏名**

**性別** 男・女

班
---

※上枠内記入不要

- |                             |                          |
|-----------------------------|--------------------------|
| 1 基礎コース(座りづとめ、よろづよ八首及び打ちもの) | 11 女鳴物調絃 ※女子のみ、三曲できる、琴の爪 |
| 2 てをどり前半(よろづよ八首～六下り目)       | 12 祭儀式                   |
| 3 てをどり後半(七下り目～十二下り目)        | 13 おつとめ衣の着付け             |
| 4 男鳴物(笛)                    | ※男子足袋、女子足袋、肌襦袢、すそよけ      |
| 5 男鳴物(小鼓)                   | ※希望する科目(番号)を記入して下さい。     |
| 6 女鳴物(琴) ※女子のみ、琴の爪          | ※下枠内記入不要                 |
| 7 女鳴物(三味線) :初心者 ※女子のみ       |                          |
| 8 女鳴物(三味線) ※女子のみ            |                          |
| 9 女鳴物(胡弓) :初心者 ※女子のみ        |                          |
| 10 女鳴物(胡弓) ※女子のみ            |                          |

第1希望	
第2希望	
第3希望	


※ 3月3日受付時に、受付票と一緒に《修練選択記入用紙》をキリトリ線から切って提出して下さい。

## 【選択講義について】

3月5日（期間中3日目）に選択講義を行います。

下記の科目の中から選択し、必要事項を記入の上、受付時に提出してください。

### ▽5日選択講義

### 講義 60分 + Q&A 30分

1、「教会とおたすけ」	講師…木下 恵美子先生（兵神大教会・天浦分教会長夫人） ・布教の家兵庫寮 副寮長
人は何を求めて教会に参拝するのか。教会長夫人として大勢の住み込み人と共に、にをいがけ、おたすけに励んできた中で感じた「教会とおたすけ」について語る。	
2、「布教師の夢とロマン」	講師…加藤 芳樹 先生（中河大教会・大海理分教会長） ・布教部 講演講師
海外での学問研究に励む生活から一転、ある師との出会いから単独布教を志し、教会を設立。今も地道な布教を続けている講師が、その道中を振り返りながら、布教師としての夢とロマンについて語る。	
3、「私と海外布教」	講師…中山 仁 先生（山名大教会・名陽分教会 教人） ・布教の家石川寮 副寮長
石川県で布教専従の生活を送りながら、年に数回メキシコに渡り布教を続けている講師。遠く海外でもご存命の教祖にお働きいただく感激と喜びの日々を通して、海外布教にかける情熱を語る。	
4、「日々の暮らしの中で信仰を活かす」	講師…小松 節夫 先生（御津大教会役員） ・天理大学ラグビー部監督
天理大学ラグビー部監督として学生と共に日々を送る中、いかに信仰を活かし喜びを見出すのか、これまでの体験を通して語る。	
5、「福祉と信仰」	講師…原田 正晴 先生（宇仁大教会・晴喜布教所長） ・社会福祉士アドバイザー
日々は特別養護老人ホームで社会福祉士アドバイザーとして介護士の指導や相談にあたり、また天理時報の「お悩み相談」の回答者としても活躍する講師が、信仰者として福祉活動に如何に関わるかを語る。	

..... キリトリ線 .....

## 5日選択講義記入用紙

※希望する講義(番号)を記入して下さい。

班

※上枠内記入不要

ふりがな  
氏名

性別 男・女

第1希望	
第2希望	

### 5日選択講義

- |             |                     |
|-------------|---------------------|
| 1、「教会とおたすけ」 | 2、「布教師の夢とロマン」       |
| 3、「私と海外布教」  | 4、「日々の暮らしの中で信仰を活かす」 |
| 5、「福祉と信仰」   |                     |

※ 3日受付時に、受付票と一緒にキリトリ線から切って提出してください。

## 【学生生徒修養会(大学の部)を受講されるみなさんへ】

救護係からのお願いです。期間中、みなさんにとって学修がよりよいものになるよう以下のことを必ず守ってください。

- ① マスク(1人1つ)、常備薬(頭痛薬、便秘薬、吸入薬など)を必ず持参してください。

今は体調に問題がなくても、期間中はハードスケジュールで、慣れない環境のため、誰もが体調を崩す可能性があります。常備薬を忘れて対応に困る学生さんが毎年います。自分で対応できることは事前に準備しておいてください。また、インフルエンザ流行の時期でもあるため、体調がおかしいと思えば、自分や周りを守るために、早めにマスクをしてもらいたいので、必ず持参してください。

- ② 治療できるものは学修までに済ませておきましょう。

毎年、「学修に来る前から、調子が悪くなって、ひどくなってきました。」と救護所に来る学生さんがいます。救護所には応急処置できる程度のものしかありませんので、病院で処置できるものは、学修へ来るまでに済ませておいてください。また、体調を整えて学修に臨んでもらいたいと思います。

- ③ 保険証(憩の家限りコピー可)は必ず持参してください。

病院受診時、保険証が必要です。持参していないと、治療費は全額負担になります。「自分は大丈夫。」と思うかもしれませんが、受診になった時、困りますので必ず持参してください。また、憩の家(天理よろづ相談所病院)の受診歴のある方は、診察券を持参してください。

※保険証のコピーを用意される場合は、文字や番号がはっきり写っているものを用意してください。

受講する学生さん1人1人にとって、すばらしい学修となるためにまずは以上のことをしっかり守って頂きたいと思います。よろしくお願ひします。